

# 北海道文化奨励賞

はな やぎ なる すけ  
花 柳 鳴 介

長年にわたり、日本舞踊に取り組み、歌舞伎座等の中央での公演はもとより、道内各地での公演を通じて伝統的な日本舞踊の普及・伝承に尽力するとともに、現代音楽との共演や炭坑殉職者の慰霊塔に奉納する鎮魂の舞等の創作舞踊の公演を行うなど、日本舞踊の普及と発展に大きく貢献している。

- 昭和30年 人間国宝 花柳流家元二代目花柳寿輔の内弟子となる
- 昭和37年 三代目花柳鳴介襲名
- 昭和42年 美唄市に花柳流舞踊道場開設  
文化庁第1回移動芸術祭参加  
(財)日本舞踊協会公演において大会賞受賞
- 昭和43年 東横創作舞踊公演(～現在)  
自由劇場において創作活動を開始(～現在)
- 昭和45年 「美唄をどり」公演開始(～昭和60年まで計10回)
- 昭和62年 「JC美唄大賞」受賞
- 昭和63年 美唄市総合体育館こけら落しとして創作舞踊「雪ふりて」等公演  
美唄市において「やすらぎの舞」公演(～現在)  
美唄市の「VIVA逢フェスタNEXT-ONE」においてロックバンド「聖飢魔II」と共演  
美唄市「市民栄誉賞」受賞(第1号)
- 平成3年 斜里町「知床ファンタジア」公演(～現在)
- 平成6年 「空知しんきん産業文化賞」受賞